

No. 1185

五つ子、元気で退院

183
五つ子

山下頼充さん記者会見「おかげさまで5人いっしょに退院することができました。家に帰ったあとはもうこれ以上迷惑をかけないように自分たちでやっていこうと思っています」。

今年1月31日鹿児島で生まれたNHK記者山下頼充さん、紀子さん夫妻の五つ子の赤ちゃんが27日午後入院先の東京、板橋の日大病院を元気に退院した。千人を越す、報道陣、見物客で玄関前はぎっしり満員。我が子を忘れてお出迎え。

生れた時は2千グラムにも満たない小さな生命だったが五人ともすくすく育ってもう立派な1人前の赤ちゃん。この日の晴着はパパがバーゲンで見つけたというおそろいのピンクのズボン姿。五人の赤ちゃんは3台の車に分乗。パトカーも付かず内密に新居に向いました。それでも道行く人たちに見つけられては歓迎を受けていました。東京練馬区の新興住宅地にある2階建ての4LDKが赤ちゃんたちの新居。近所の人たちの待ち受ける中3台の車は到着。盛んな歓迎を受けました。

この日いっしょに退院できなかった母親の紀子さんにも年内には同じ屋根の下で生活できそう。

いよいよ育児戦争のスタートです。

代表質問始まる

261
林

第78回臨時国会

第78回、臨時国会は9月16日召集され三木首相の所信表明演説に続いて、各党の代表質問が行なわれた。

三木首相「いわゆるロッキード事件は、我が国の政治に大きな衝撃を与え、ついに自民党のかつての最高幹部の中から容疑者を出すにいたりました。私はこの事態を大きな悲しみをもって深刻に受けとめるとともに、政府および自民党の最高責任者としての責任を痛切に感ずるものであります」

石橋政嗣（社会）「真相究明を妨げ、権力争奪にうき身をやつし、その上、政治に対する不信を高めるようなことがあればそれこそまさに民主政治死滅への道に連なることを自覚してもらいたい」

金子満広（共産）「この事件の中心人物、A級戦犯の容疑者、児玉誉士夫が自民党政治の黒幕として暗躍してきたことは極めて重大である。」

矢野絢也（公明）「総理は国会も野党も国民も関係のない所で政権延命のための党内派閥抗争に没頭し、結果として国政への責任をおろそかにしてきた。」

春日一幸（民社）「三木総理はしばしば、信なくばたたずと言明してこられたが、すでにあなたの信頼は地に落ちている。もはや総理としての統治能力はない。」